



SFoods 平成16年2月期（第1四半期）業績レポート

リエンジニアリングの完遂

ビジネスモデルづくりの推進により、価値創造企業を目指す。



平成15年7月
代表取締役社長 CEO
森島 征夫

経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等

当社グループは経営理念に基づき、おいしくて安全で健康に役立ち、お客様に喜んでいただける、魅力ある製品の提供を継続することによりお客様から、より一層信頼される会社を目指して活動しております。当第1四半期における国内経済は、長期化するデフレ不況や世界経済に対する先行き懸念等により依然として厳しい状況が続いております。このような環境下、当社は変化を予測した積極的な仕入・製造・販売戦略をスピーディーに推進したことにより、当社の売上高は前年同期比139.2%となり、利益面においても、マーチャンダイジングとリエンジニアリングの効果が現れ、当初の計画を上回るペースで推移しており、年度方針である「リエンジニアリングの完遂」に向け好調なスタートを切ることができました。以上の結果、当第1四半期の売上高は132億5千3百万円、経常利益は12億1千9百万円、当期純利益は6億6千5百万円となりました。

なお、当第1四半期は四半期決算導入の初年度であるため、前年同期との比較分析は行っていません。

財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当四半期（当期）純利益11億8千7百万円、減価償却費1億5千7百万円及び仕入債務の増加額8億7千4百万円等がキャッシュの増加要因になり、一方、売上回復による売上債権の増加額19億3千万円がキャッシュの減少要因になった結果、2億9千9百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資・投資有価証券の取得等により5億7百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、当社第37期配当金を支払ったこと等により4億1百万円の支出となりました。また、新規連結子会社4社の現金及び現金同等物1億3千3百万円が増加いたしました。以上により、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より4億7千4百万円減少し、21億9千7百万円となりました。

業績予想に関する定性的情報等

第2四半期以降も厳しい環境が続く、牛肉のセーフガード（緊急輸入制限措置）発動等変化の多い年になると見ております。当社は、変化をチャンスと捉え、今後とも経営理念の具現化に向け、より信頼される会社を目指し積極的な営業活動を推進してまいります。また、下期から安心・安全・衛生的な世界に通用する製造体制の構築を目指し「工場大改造」を実施する等、積極的な投資を行い将来に対する楽しみづくりを行ってまいります。



なお、現在、当社グループは、第39期（平成16年3月1日～平成17年2月28日）を初年度とする3か年の新中期経営計画を策定中ですが、同計画のスタートに先立ちスリムで強靱な経営体質を築くべく、昨年着手した「経営の大革新リエンジニアリングの完遂」を目指し諸施策を実践中でありま。

この一環として販売拠点である支店・営業所の事業再編を通じた営業力の強化を図ってまいります。具体的施策として支店・営業所が有する固定資産（土地・建物）等を当社グループの資産管理会社である鳴尾興産株式会社へ譲渡することによって、夫々、支店・営業所はより一層営業活動に、また鳴尾興産株式会社はグループ資産の一元管理業務に専念することによりグループ経営を強化していく方針を決定いたしました。この譲渡により、連結・単体ともに20億4千万円の売却損を当上期に計上する予定であります。以上により、通期の売上高は505億円（前期比20.9%増）、経常利益は28億円（前期比82.1%増）、当期純利益は3億5千万円（前期比48.1%減）を見込んでおります。

Q&A



(単位：百万円)

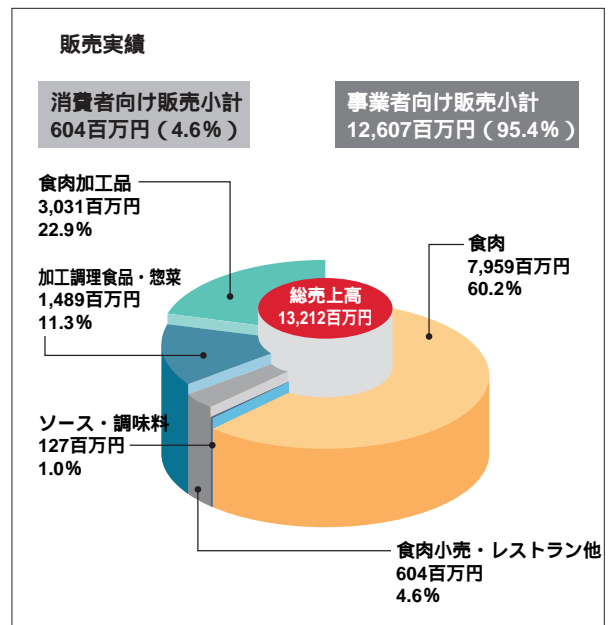
Q1. 売上高を中心とした 今期業績見通しは？

A. 当第1四半期(3ヶ月)の売上高は132億5千3百万円で順調に推移しております。第2四半期以降は、牛肉のセーフガード(緊急輸入制限措置)発動による牛肉輸入関税率の引上げなど変化の多い厳しい環境が続くと見ておりますが、変化をチャンスと捉え、平成16年2月期(12ヶ月)の売上高は、当初の目標(500億円)を上回る505億円(前期比20.9%増)を見込んでおります。なお、営業活動の成果である経常利益は28億円(前期比82.1%増)を見込んでおります。

	平成16年2月期 第1四半期(3ヵ月)	参考 平成15年2月期(12ヵ月)
売上高	13,253	41,778
営業利益	1,143	1,603
経常利益	1,219	1,537
当期(四半期) 純利益	665	674
1株当たり当期純利益 又は純損失	31円65銭	31円94銭

Q2. 固定資産の譲渡および 当期純利益の修正について

A. 「経営の大革新リエンジニアリングの完遂」の一環として、販売拠点である支店・営業所の事業再編を通じた営業力の強化を図ってまいります。具体的施策として支店・営業所が有する固定資産(土地・建物等)を当社グループの資産管理会社である鳴尾興産株式会社に譲渡することにより、夫々が営業活動とグループ資産の一元管理に専念することでグループ経営を強化してまいります。この前向きな固定資産譲渡により連結・単体ともに2,040百万円の売却損を計上する予定ですが、強い会社の実現を目指し、将来に対する楽しみづくりを行ってまいります。



Q3. 中間配当の実施及び 配当予想修正について

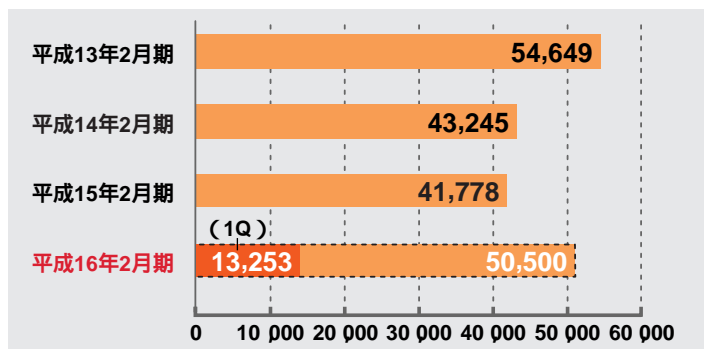
A. 株主の皆様への利益還元をタイムリーに行うため、中間配当を実施することを決定いたしました。当期の中間配当金は11円(11円増)へ修正いたします。また、平成16年2月期の当期純利益は、前向きな固定資産譲渡により当初予想を下回る見込みですが、営業活動の成果である経常利益は、当初予想を上回る見込みでありますので、年間配当金は当初予想通り1株当たり22円を行う方針であります。

平成16年2月期(平成15年3月1日～平成16年2月29日)配当予想

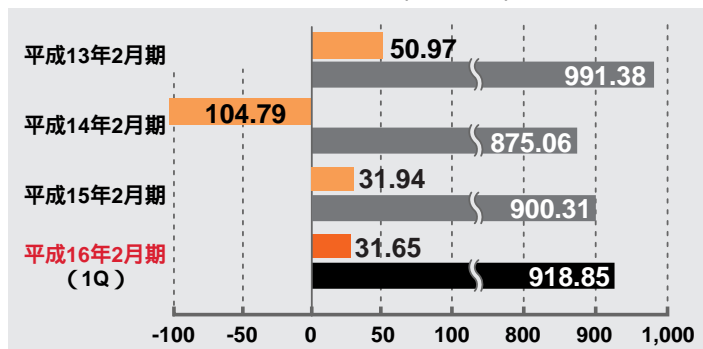
	前回予想 平成15年 4月16日公表	今回修正予想	ご参考 前期実績 (平成15年2月期)
1株当たり 中間配当金	0円00銭	11円00銭	0円00銭
1株当たり 期末配当金	22円00銭	11円00銭	18円00銭
1株当たり 年間配当金	22円00銭	22円00銭	18円00銭

連結での営業成績および資産状況の推移

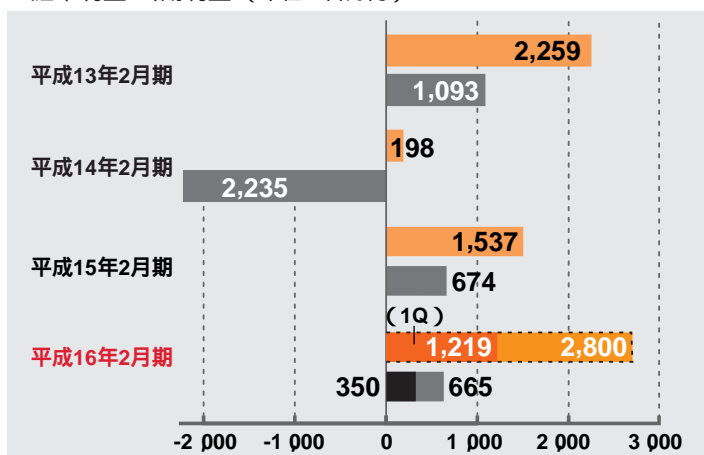
売上高（単位：百万円）



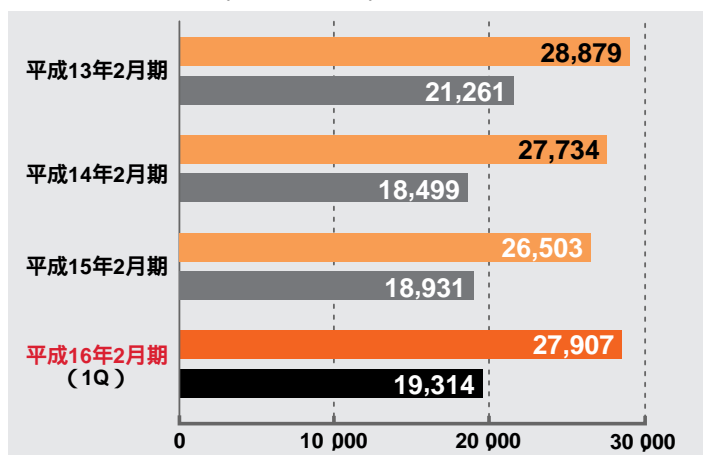
1株当たり当期利益/1株当たり株主資本（単位：円）



経常利益/当期利益（単位：百万円）



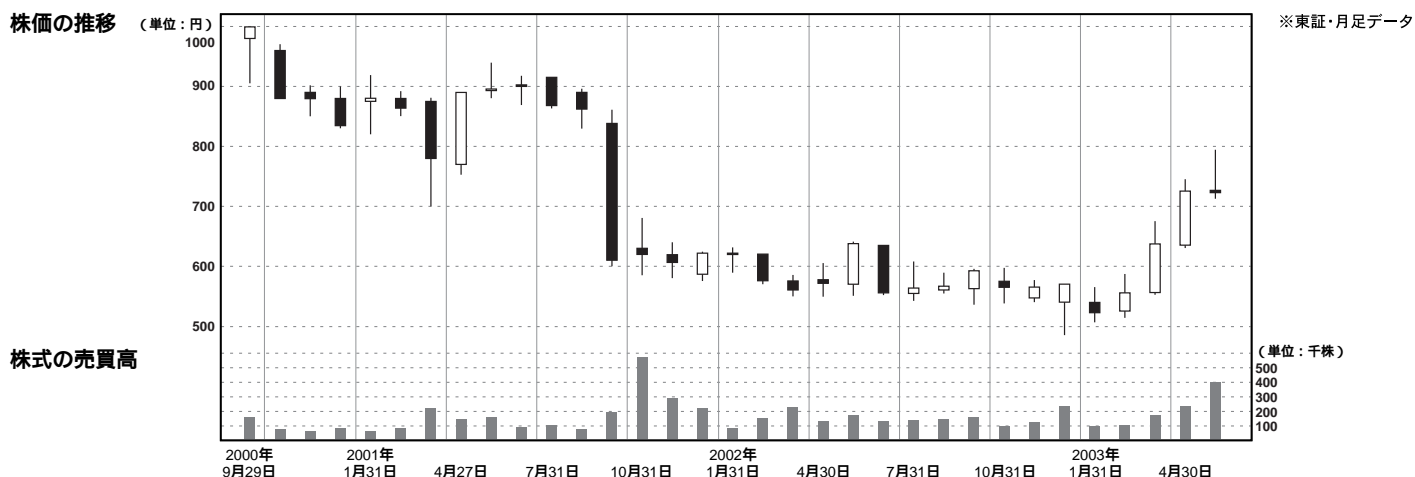
総資産/株主資本（単位：百万円）



連結キャッシュ・フローの状況（単位：百万円）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
平成16年2月期 第1四半期（3ヵ月）	299	507	401	2,197
（参考） 平成15年2月期（12ヵ月）	4,293	613	3,300	2,671

株価の推移と株式の売買高



本四半期レポートに掲載されている、当社の現在の見通し、戦略、計画などは将来の業績に関する見通しであります。またこれらは当社の判断に基づいております。つきましては見通しのみにも全面的に依拠することはお控え下さいますよう、お願い致します。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化による様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、予めご了承願います。

『2003年こてっちゃん夏キャンペーン』を実施中です！

発売以来おいしさと親しみのあるネーミングで愛され続けて20年を超えるロングセラー商品となった「こてっちゃん」。現ユーザーの消費拡大、さらに新規顧客の獲得をテーマに、7月1日より60日間にわたり夏キャンペーンを実施します。

こてっちゃん テレビ&ラジオコマーシャル大量投入

“焼肉・バーベキューシーズン”の最需要期を狙うことにより、消費者と流通の両方向へ一層の認知度を高め消費の拡大を促進。各種プロモーションの投入により販売のバックアップをおこなってまいります。全国放映のテレビスポットおよび全国各地の地域に密着したラジオ局より夏のスタミナ宣言“こてっちゃん”を告知。TVスポットの持つ即効性・浸透性およびラジオスポットの持つ親しみやすさの両面から「こてっちゃん」の購買を喚起し、効果的な店頭支援をおこないます。

夏キャンペーン店頭販促ツール

店頭で役立つ販促ツール（売場対策）購買者に好評のこてっちゃん料理メニューレシピをはじめ、売場で目立つショーカード&プライスカード、テレビ・ラジオコマーシャル連動型「夏の元気」を表現するVTRやエンドレステープ等多彩な販促ツールで夏の売場づくりを強力にバックアップいたします。また販売店さまへの販売意欲促進は、“2003年夏のこてっちゃんごきげんグッズプレゼント”として、こてっちゃんお取り扱いケース数に応じて、お店で役立つ賞品をお選びいただけるポイント制プレゼントキャンペーンを実施します。



こてっちゃんを使うと味付けがとってもカンタン。 ゴーヤとこてっちゃんの相性もピッタリです。



ゴーヤこてっちゃんブルー

1人分474kcal
調理時間約10分
(豆腐の水切り時間は含まない)
材料(2人分)
・こてっちゃん(野菜炒め用)...250g
・ゴーヤ...200g
・木綿豆腐...300g
・卵...2個
・酒...大さじ2杯
・かつお節...1パック(5g)
・サラダ油...小さじ2杯
・塩...少々

作り方

- 豆腐はあらかじめ、レンジ加熱などで水切りをしておきます。
ゴーヤは縦半分にし、ワタを取り除いて厚さ2ミリほどの薄切りにしておきます。
- フライパンにサラダ油少々を入れて強火で熱し、1で水切りした豆腐をちぎって入れ炒めます。
焼きめがついたら中火にし、こてっちゃん、酒、ゴーヤを加えて炒めます。
- こてっちゃんの表面に少しこげめがついてきたら、卵をといて入れてよくかきまぜます。
かつお節を加え、塩で味を調えて出来上がりです。

エスフーズ会社概要

社名 エスフーズ株式会社 S Foods Inc.
上場証券取引所 東証・大証1部 (コード番号 2292)
設立年月日 昭和42年5月22日
代表者 代表取締役社長 森島征夫
資本金 42億2,664万円(平成15年2月末日現在)
社員数 361名(平成15年2月末日現在)
年間売上高 385億円(平成15年2月期実績)
事業内容 食肉加工品、加工調理食品・総菜、ソース調味料の製造販売 食品の販売
主要取引銀行 株式会社UFJ銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社みずほコーポレート銀行
株式会社東京三菱銀行
UFJ信託銀行株式会社
関連会社 ミスタースタミナ株式会社・株式会社ケンシヨク
フォエム食品加工株式会社・株式会社味兆
すこやか食品株式会社・五愛焼肉コンセプト株式会社
鳴尾興産株式会社
FREMONT BEEF COMPANY(アメリカ合衆国)

事業所
本社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13
TEL(0798)43-1065(代表)
東京本社 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町24番38
TEL(047)435-0811(代表)
株式の概要
発行株式総数 76,500,000株
発行済株式総数 21,446,659株
株主数 2,455名(平成15年2月末日現在)
株式名義書換
名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話 06-6229-3011
同取次場所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料) 0120-24-4479(本店証券代行部)
0120-68-4479(大阪支店証券代行部)
インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>
(会社情報) 7月1日付けで関係会社の(株)味兆に(株)静岡味兆が合併しました。